

貴金属薬品や材料、メッキ薬品、
貴金属リサイクルに関するご用命は、
数多くの実績と信頼の当社におまかせ下さい！



環境経営レポート



株式会社 アライ

目次

1. 組織の概要
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 組織の概要

・事業所名及び代表者氏名

株式会社アライ
代表取締役社長 秋田 善久

・所在地

東京都足立区西新井本町2-27-2

・環境経営管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境経営管理責任者 代表取締役社長 秋田 善久
TEL: 03-3896-0882 FAX: 03-3856-5455
Eメール: y-akita@refine-arai.com

担当者 営業部 上田 昭弘
TEL: 03-3896-0882 FAX: 03-3856-5455
Eメール: a-ueda@refine-arai.com

・事業活動の内容

化学薬品等の卸売販売、イオン交換樹脂及び活性炭の販売

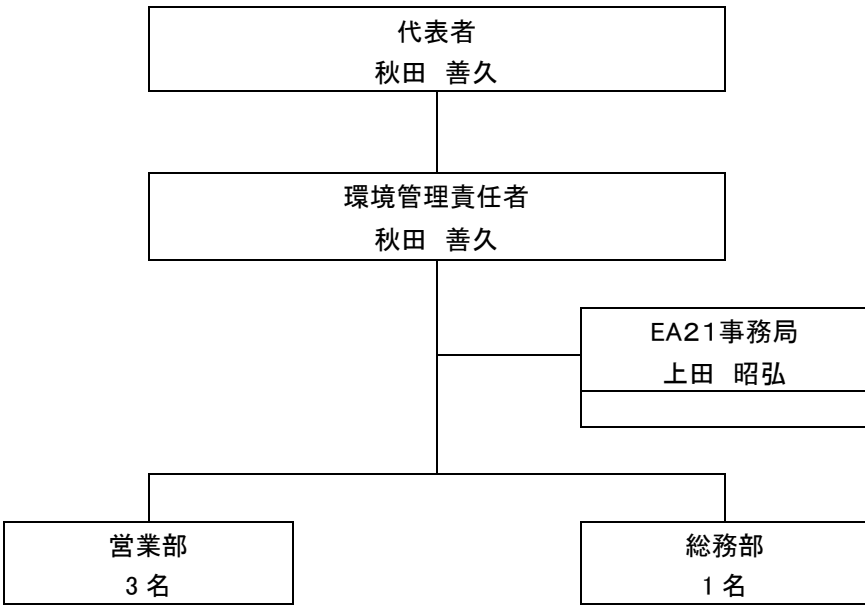
・事業の規模

主要製品の出荷額 18億円／2023年度

	本社(倉庫含む)
従業員数	5名
延床面積	187.26㎡(倉庫72.95㎡含む)

2. 対象範囲

認証・登録範囲 ; 当社は全組織・全活動を対象としています。
・実施体制図



・役割・責任・権限

職 名	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営レポート承認
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する ・環境経営活動の取り組み結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートのチェック
EA21事務局	・エコアクション推進の事務局 ・環境経営目標・環境経営計画書/実績表の作成、及び定期的な確認 ・環境経営関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポート作成
営業部 総務部	・自部門における環境経営システムの実施 ・環境経営目標及び環境経営計画の実施と月別実績の記載 ・環境経営活動におけるチェックリストの記録・運用管理 ・自部門の問題点の発見・是正・予防処置

・レポートの対象期間及び発行日

対象期間 ; 2023年9月～2024年8月
発行日 ; 2024年10月18日

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

【環境経営理念】

株式会社アライは、貴金属化合物やメッキに関する専門商社として卸売り販売を行うとともに、地球の環境保全が人類共通の重要課題のひとつであるとの認識の基、リサイクル事業を中心とした各事業を通じて環境の負荷軽減のため省エネルギー・省資源（リサイクル、再利用の促進）活動を推進し、継続的な地球環境の保全・汚染予防と循環型社会の形成に取り組むことを宣言します。

【基本方針】

1. 当社は「エコアクション21（EA21）」による環境経営システムを構築・文書化し、継続的な改善を図ります。
2. 省エネルギーおよび廃棄物の削減など、環境に配慮した活動に努めます。
 - 1) オフィス活動において、作業環境条件、備品等の見直しを行い、廃棄物の低減リサイクル促進等の省エネルギー・省資源に取り組めます。
 - 2) 事務用品の調達・購入に当り、環境に配慮します。
 - 3) 当社の事業において、環境に配慮した製品の仕入れ・販売・サービスを目指します。
3. 環境関連の法律、規制、また当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
4. 定期的な環境教育の実施をすることで、環境保全に関する意識向上を図ります。
5. 環境経営方針は、一般に公開します。

改定日 2019 年 12 月 10 日

株式会社 アライ

代表取締役 秋田 善久

4. 環境経営目標

環境経営目標項目	基準年 (2019 年度)	中期目標 (2025 年度)	単年度 (2023 年度)
二酸化炭素排出量削減			
・電気使用による二酸化炭素排出量 (kg)	4,783	4,783 (基準年値以下)	4,783 (基準年値以下)
・ガソリン、使用による二酸化炭素排出量 (kg)	7,241	7,241 (基準年値以下)	7,241 (基準年値維持)
・CO ₂ 合計 (kg)	12,024	12,024 (基準年値以下)	12,024 (基準年値維持)
一般廃棄物の削減 (kg)	360	360 (基準年値以下)	360 (基準年値以下)
水使用量の削減 (m ³)	154	131	131
化学薬品の管理	適正管理	適正管理	適正管理
環境対応商品販売量 (イオン交換樹脂) (L)	37,350	40,000	39,000
コピー用紙購入量 (枚)	-	5,760 枚 (21 年度の-4%)	5,880 枚 (21 年度の-2%)

※ CO₂排出係数は、2019 年東京電力エナジーパートナー(株)の排出係数 0.455kg- CO₂/kWh を使用。

※ 化学物質使用はない為、目標の設定は無し。

5. 環境経営計画

取組目標	取組内容	担当者	実施時期
二酸化炭素排出量削減	電力の削減 ・空調の設定温度を電力削減に向け1度設定を変更する。 ・未使用の部屋を遮断し空調範囲を狭くする事で省電力に繋げる。	全社員	通年
	・自動車燃料の削減 ・ドライブモードの変更を行い燃料使用量の削減をする。 ・時間に余裕を持つ出発を行い、エコスピード運転を心掛ける。	関係者	通年
一般廃棄物の削減	・分別の継続。 ・梱包資材の再利用を徹底する。 ・客先へ通い箱使用の推奨を行う。	全社員	通年
水使用量の削減	・洗車時の水の散水形状を選択する事で、節水に繋げる。 ・雨水の利用を行う。	全社員	通年
化学薬品の管理	・月1回の電子ファイルと台帳の整合継続。 ・週に1度、実在庫の確認を行う。	関係者	通年
環境配慮型製品 (イオン交換樹脂)の販売	・既存ユーザー関連企業への販売促進を行う。 ・新規開拓の継続を行う。 ・展示会へ出展。	関係者	通年
コピー用紙購入量の低減	・紙での FAX からパソコンでの FAX へ移行する。 ・電子ファイルへの切り替えを推奨する。	全社員	通年

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

取組目標		実施内容	実施時期
二酸化炭素排出量削減	電力の削減	・設定温度の変更と風量設定で補う事を実施した。 ・未使用の部屋と使用中の部屋のドアを閉め、遮断を行った。	通年
	自動車燃料の削減	・運転モード選択をエコモードへ切り替えた。 ・現行より、早めの出発を実施した。	通年
一般廃棄物の削減		・リサイクル可能な資源とゴミの分別を行った。 ・通い箱の客先を増やす打診を行い、検討中となった。	通年
水使用量の削減		・洗車用の散水形状を変更した。 ・雨天後の洗車を行い、水使用削減を行った。	通年
化学薬品の管理		・週に1度、実在庫と台帳の付け合わせを実施。	通年
環境配慮型製品 (イオン交換樹脂)の販売		・販売が減少している既存のユーザーへ状況確認を行い、再販となった。 ・既存顧客の新規事業へデータと見積り提出を行った。	通年
コピー用紙購入量の低減		・コピー裏面の再利用を推奨、実施した。 ・電子ファイルへのデータ保存を増加させ、紙削減を行った。	通年

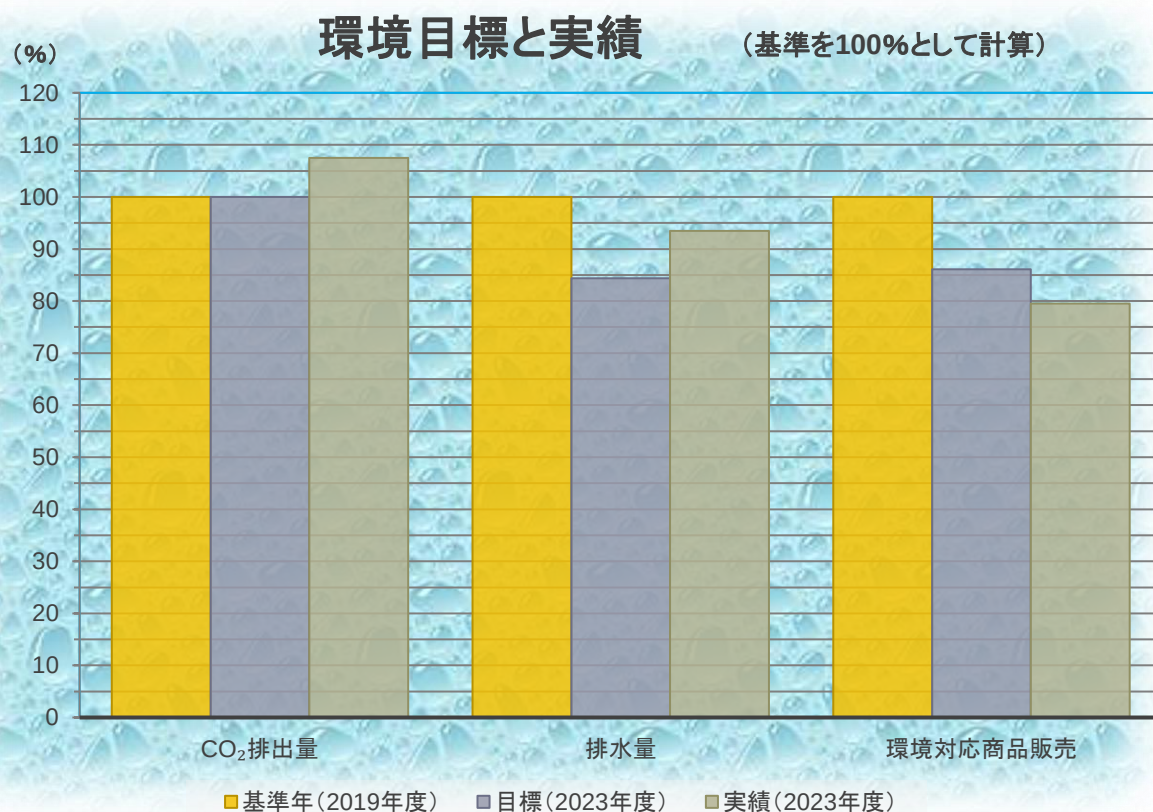
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

・環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営 目標項目	2023 年度			結果	評価
	目標値	結果	達成率		
二酸化炭素排出量削減					
・電気 (kg)	4,783	5,058	94.6%	×	社員全員、目標達成に向け行動したが結果的に達成は出来ませんでした。猛暑の影響が大きかったと考えられます。空調以外の電力削減については、良い行動が出来たと思います。
・ガソリン、軽油 (kg)	7,241	6,059	119.5%	○	車通勤から電車通勤へ変更した事が目標達成の大きな要因と考えられます。 エコモードでの運転と時間の余裕を持った出発も継続します。
・CO ₂ 合計(kg)	12,024	11,184	107.5%	○	電気使用量に関しては目標未達成であったが、ガソリンに関しては達成となりました。今後は、通勤方法の変更以外の内容確認と猛暑対策を考えて活動する必要があると思います。
一般廃棄物の削減(kg)	360	368.38	97.7%	×	リサイクルとごみの仕分けは、良くできたと思われますがダンボールや一般ごみの増加が見られました。数字にとらわれず、今後も再利用やリサイクル出来るものの仕分けを徹底したいと思います。
総排水量削減 (m ³)	131	140	93.5%	×	取組みは出来ていたが、洗車の回数増加と水を使用する仕事が多かった事が目標未達成になったと考えられます。次年度も節水に意識しながら目標に向けた活動に取り組みます。
産業廃棄物 (kg)	20	0	-	○	廃棄無しでした。
化学薬品の管理	適正 管理	100	-	○	在庫管理確認の実施、方法共に、問題ありませんでした。
環境対応商品販売 (イオン交換樹脂) (L)	39,000	31,000	79.5%	×	再販の仕事は有ったが量的少なかった、新規の仕事もまだ結果に繋がっていない事も有ります。一番の要因は前半の仕事量の減少が考えられます。次年度も継続して拡販を行い目標達成に向け活動します。
コピー用紙購入量 (枚)	5,880	5,843	100.1%	○	目標は達成したが、昨年より数量が増えているので、次年度も使用量削減に取組みます。

・次年度の環境目標及び環境経営計画

項目	中期目標 (2025 年度)	単年度 (2024 年度)	計画
二酸化炭素排出量削減 CO ₂ 合計(kg)	12, 024 (基準年値以下)	12, 024 (基準年値以下)	空調、照明について ・空調・・・エアコンの設定温度、事務所・倉庫をそれぞれ夏場は +1℃、冬場は-1℃にすることにより、約 10～13%削減を目指す。 ・照明・・・昼休み時、必要などところ以外消灯する。倉庫は使用時のみ点灯、基本中 SW のみ点灯することにより、50%削減を目指す。
一般廃棄物の削減(kg)	360 (基準年値以下)	360 (基準年値以下)	・可燃ごみの分別を継続する。 ・梱包資材の再利用を徹底する。 ・資源ごみの再利用を行う。
水使用量の削減 (m ³)	131	131	節水について ・蛇口に節水コマ等節水用品を使用し、10～50%節水を目指す。 ・トイレタンクにも節水用品使用の検討を図る。 ・定期的に節水への「声かけ運動」の実施。
化学薬品の管理	全項目確認	全項目確認済	・月1回の電子ファイルと台帳の整合継続。 ・週に1 度、実在庫の確認を行う。
環境対応商品販売 (イオン交換樹脂) (L)	40,000 (基準年の+7%)	39,500 (基準年の+4%)	・既存ユーザーへの販売展開。 ・新規開拓の継続を行う。 ・展示会への展示。
コピー用紙購入量削減 (枚)	5,700 枚 (21 年度-5%)	5,880 枚 (21 年度-2%)	・電子帳簿保存法の影響により、コピー用紙使用量が変わる可能性が有る為、新しい基準に向けたデータの収集を行う。



8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

『当社に適用される主な環境関連法規は、以下の通りです。8月31日に遵守評価した結果、これ等への違反はありませんでした。なお、関係当局より違反等の指摘及び外部からの苦情等は、過去5年間ありません。』

適用環境関連法規等	適用される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守状況の確認・評価
東京都環境確保条例	・業務に使用する自動車。	・条例に基づき駐車中のアイドリングストップを奨励。
資源の有効な利用の促進に関する法律	・業務に使用するパソコンの廃棄の場合。	・廃棄無し。
特定家庭用機器再商品化法	・業務用に置いてある家庭用冷蔵庫、家庭用エアコンを廃棄する場合。	・家庭用冷蔵庫1台、業者へ廃棄。家電リサイクル券受取済。
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化	・業務用エアコンの点検。 ・業務用エアコンを廃棄するとき。	・廃棄無し。 ・第一種特定製品の簡易点検実施。記録簿有り。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産廃の収集運搬委託。 ・マニフェストの確認 ・産廃の一時保管。	・廃棄無し。
毒物及び劇物取締法	・各種めっき用薬品の販売。 ・盗難、紛失の際の措置。	・管理者の選任と、台帳管理を行っている。問題無し。
足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	・事務所ごみ(一廃)の排出。	・足立区廃棄物条例に基づき、事業所系ゴミとして廃棄している。
小型家電リサイクル法 (R2年4月5改正)	・小型廃家電の処理は区のルールに基づいて出す。	・廃棄無し。
自動車リサイクル法 (H17年1月1日施行)	・使用済み自動車の適正処理。	・廃棄無し。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

・全体の評価

コロナが5類に移行してさまざまな規制が緩和しましたが、猛暑などの異常気象や為替の円安や資源高による物価上昇、人不足による物流への影響など、弊社にとって厳しい環境下での取り組みが続いております。

今年度は猛暑の影響により水や電気などの使用量が増えたことや貴金属高騰が続いたことによる販売量低下で一部の目標で未達成となりましたが、基本的に取り組む結果としては概ね良好であると考えます。

環境経営計画の目標に向けた取り組みを行うことで、環境負荷軽減だけでなくコスト削減にもつながることから、安定した事業を継続していくためにも引き続き責任感を持った行動をお願いします。

・システムの変更事項

二酸化炭素排出量削減(ガソリン)に向けた目標について、コロナ禍による自動車通勤が終了したことから、目標値の再設定について検討を行ってください。